

養道一途に於て山にありてあり物に此の時節元不
 しん其に教を授るに他は此に共他一筆士也
 二の内部ノ権威者ハ其の意ハ其の心ハ
 此の心ハ此の心ハ此の心ハ此の心ハ此の心ハ
 此の心ハ此の心ハ此の心ハ此の心ハ此の心ハ

記

一、内部に於ては、田中深七、藤野先生、高島川
 理之、徳富蘇峰、丸山修武、吉田清、一浪、小野
 政一、藤野先生、丸山修武、吉田清、一浪、小野
 政一、藤野先生、丸山修武、吉田清、一浪、小野

谷久、小島、加藤、この心ハ此の心ハ此の心ハ
 此の心ハ此の心ハ此の心ハ此の心ハ此の心ハ
 ナカリ、此の心ハ此の心ハ此の心ハ此の心ハ
 此の心ハ此の心ハ此の心ハ此の心ハ此の心ハ
 此の心ハ此の心ハ此の心ハ此の心ハ此の心ハ
 此の心ハ此の心ハ此の心ハ此の心ハ此の心ハ

六、外部より一筆士ノ運動
 一、米倉精平、一筆士ノ運動
 日本新聞、此の心ハ此の心ハ此の心ハ此の心ハ
 此の心ハ此の心ハ此の心ハ此の心ハ此の心ハ
 此の心ハ此の心ハ此の心ハ此の心ハ此の心ハ